



おゆみ

第67号

令和4年1月14日

発行：町内総務部

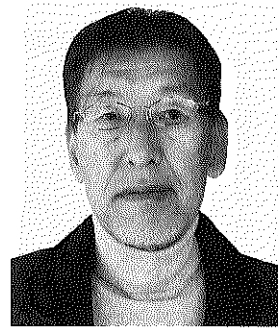
生実町会館 ☎ 268-1946

生実町ホームページ

http://www.oyumi.com

~~~~~伝統と創造のまち~~~~~

令和四年を迎えて



会長 丸嶋 長義 雄

の神」といって、すべてに神が宿ると信じてきました。自然と神様に感謝し、生きることを喜び、コミュニティを育てるために行なってきたのが生実町の秋の例大祭です。

平成2年の秋の例大祭は私にとって特別なものでした。平成2年の4月に社務所が建設され、9月には生実神社の修建が終り、老朽化した生実神社が生まれ変わりました。

例大祭では、生実神社の落慶式が举行され、落慶記念奉納演芸大会では、小山内薫原作の「息子」、真船豊原作の「寒鴨」の2つが演じられました。(生実町秋の例大祭)

これらの伝統行事活動を通じて、人と人との素晴らしいコミュニケーションが生まれ嬉しく思っております。これが町内会活動の一番大事なことなのでしょう。そして、ここからより良い町づくりが育つのだと思います。

今も、新型コロナウイルスに新たな変異株(オミクロン)が流行して収まる傾向がなく、今年度も町内会行事が制限される心配で残念に思います。

それにつけても、町づくりのあれこれを考えてはいるものの微力なこともあるか、努力をしているつもりでも、何と多くの課題の前に、その結果の遅延の遅々たることか...担当している私がそう思うのですから、町民の皆様から見れば不甲斐なく思われることでしょう。皆様の温かい協力を人一倍頂いておりながら申し訳無く思っております。残任期に全力を上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

副会長 長谷川 功

新年おめでとうございます。会員の皆様には、日頃より町内会活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の為、町内会各行事をはじめ、各諸団体の行事も中止されている中、ワクチン接種が進み感染が押さえられてきたのではと思われたのですが、オミクロン株によりワクチンを2回接種後も感染してしまうという、先の見えない状況になってしまいました。この状況下で何ができるのか、何をしなければいけないのかを役員一同、町民の皆さんと考え進んでいきたいと思っております。何か要望等ございましたら会館事務員・町会役員までお知らせください。

今年もよろしくお願ひいたします。

副会長 佐藤 薫

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃より町内活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。二年ほど前から、世界中に新型コロナウイルスが感染・拡大し、今年はそのような年になるかわかりませんが、一日も早い終息を願います。又、皆様は普段通りの生活が送れるよう、そして、町内会の活動が再開できることを願ひ、新年の挨拶といたします。

総務部

部長 中村 洋一

新しい年を迎えて、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

本年度は、感染も心配される中、四月の総会は三回に分けて行ないました。行事等は全て中止となり、町内会費も減額する事となりました。また、楽しみにしていた東京オリンピックは開催されませんが、感染拡大は留まる事が無いのかと思う日々が続きました。その状況の中、十一月には組長さんに集金をして頂きました。誠にありがとうございます。

四月には、新しい組長さんに代わって頂きますが、引き継ぎを速やかにこなして頂ければ幸いです。宜しくお願ひ致します。

町内会役員も丸嶋会長の任期満了にもない代わる事となります。すでに回覧でご存知の事と思いますが、十二月十三日に町内会長選挙委員会が発足しております。多くの会員の皆さまのご意見を聞かせて頂ければと思います。

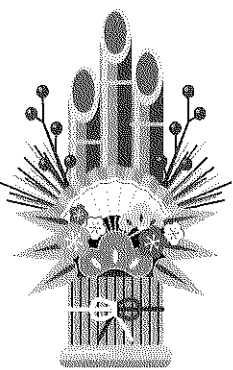
これからも、一人ひとりが感染予防に努めて生活することが必要であると考えます。終わりに、会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。

環境部

川嶋 祥生

明けましておめでとうございます。なかなかコロナの収束がみえない中で新年を迎えられたことと存じます。

会員の皆様には、日頃より町内の美化活動にご協力頂き有難うございます。環境部は生活に密着した部なので常時美化活動を中心に活動を行っています。



美しく魅力ある、この生浜地域には、昔から必ず地域独自の生産・生活様式が有り、それが地域の個性で、地域が有している固有文化に形づけられています。生実町には、特に長い時間の中で伝承されてきた固有の文化を中心として、都市部とは異なる歴史の重みと民俗の香りを帯びる地域文化が存在しています。

「春には：」農作業の準備でこの家でも忙しい。忙しい作業から1日だけはなれていただき、家族・近所の方々と家族運動会です。ここから人と人の素晴らしいコミュニケーションが生まれて、より良い町づくりがスタートする。(生実町町内体育祭)

「夏には：」お盆を大切にしたい、「ご先祖様の里帰り」生実町のお盆は、離れて暮らす家族が、迎盆の8月13日に集まり、送り盆の8月15日まで実家で暮らす風習があります。生実町内会では迎盆の日から無数の提灯に明かりが入り、迎え火の如く盆踊会場を照らし盆踊り(昔は念仏踊り)の始まりです。

送り盆の日は、夜空を色どる夏の風物詩打ちあげ花火、花火は送り火の如く送り盆の道をも照らしつつける。(生実町盆踊り花火大会)

「秋には：」季節行事が多く、魅力溢れる町です。人は「八百万(やおらず)

主な実務はゴミステーションの見廻り、不法投棄の回収及び監視を行っており、組長さんの協力を得ながら活動しています。あえて問題をあげるとすれば、毎月の第2第4(木)の不燃ゴミの中身の問題で、危険性のたかひものが分類されないまま排出されています。例えば携帯ガスボンベ、スプレー缶、ライター、乾電池、蛍光灯等、これら有害物に関しては、不燃ゴミ袋とは別の透明袋に分類し、排出して下さい。ルールを守らないで収集されないものが多く見受けられます。一部の方がルールを守らないと、共同施設などで、運用の妨げになりかねません。ゴミの回収日、分別等のルールに沿っての利用をお願いします。

防災・防犯部

部長 増田 文夫

町内会会員の皆様には日頃より町内会活動にご協力、ご指導を頂き感謝申し上げます。

令和三年は、前年に続き新型コロナウイルスの感染が拡大し、町内会の行事も多くが中止となりました。

防災・防犯部では、感染防止の対策を取りながら、青パト防犯パトロールを行いました。パトロールは、生実町諸団体・諸関係・町内会が年間を通して、防犯活動をしています。

防災関係では、会館の中に防災行政無線が設置されました。千葉市の防災行政無線の放送が始まると自動で受信し、放送を始めます。

町民の皆様と共に「住んで良かった生実町」を合言葉に、今年もよろしくお願いたします。

文教科体育部

藤井 克秀

新年おめでとうございます。

令和4年の初春を迎え、生実町の皆様におかれましては、本年も良き年でありませうお慶び申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルスに始まり、地域の皆様の安全を最優先に鑑み一年となりましたが、皆様のご理解とご協力により新年を迎える事が出来ましたこと厚く御礼申し上げます。この状況が当面続くと思われませんが、皆様との繋がりがこそが地域活性化に不可欠であります。

町内会・諸団体の皆様におきましても例年予定されている行事など、ほとんどの活動が中止されている現状です。大変なことです。アイデアを出し合って、今年も微力ながら町内会を盛り上げていきたいと思っております。本年もよろしくお願いたします。

青年会

会長 秋元 利成

あけましておめでとうございます。

平素より青年会活動に多大なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

さて私共青年会は、町会行事への協力や、生実池の鯉幟上げ、生実神社奉納演芸大会、諸先輩方より受け継いだ伝統の継承など多岐に亘り活動しております。

青年会活動にご興味のある方や、賛同しご入会いただける方は、お近くの青年会員や執行部まで御連絡下さい。

婦人会

会長 田鎖 かづ子

明けましておめでとうございます。

新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

今だにコロナ関連のニュースが絶えない日々が続いております。そしてまた新たに感染力の強いオミクロン株が現れなかなか終息の兆しが見えない状況ですが、感染防止対策に努めながら少しずつでも行事が再開できる事を願いたいと思っております。

また、東小見守り、青色防犯パトロール、会館周りの花壇の手入れなどを少人数ではありますが活動してまいります。本年も宜しくお願申し上げます。

子ども会

会長 夏目 つかさ

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナウイルスの影響で子ども会の活動も思うようにできずにきました。が、緊急事態宣言も解除され、感染対策に気をつけながらではあります。少しずつ子ども会の活動を再開できるようにになりました。

10月には、ハロウィンのイベントをし、仮装してきた子ども達にお菓子を配付しました。

12月には、2年ぶりとなる子ども達が大好きなクリスマス会をすることができました。密にならないように配慮しながら、リース作りやゲーム、ビン

ゴ大会をして、子ども達の笑顔があふれる一日になりました。

今年も、状況をみながら活動を広げていきたいと考えています。

まだ、子ども会に未入会の皆さん、お気軽にご入会ください。お待ちしております。

本年も子ども会活動にご理解、ご協力を賜ります様、よろしくお願申し上げます。

百寿会

会長 青柳 孝治

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より当会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2年に亘るコロナ禍で生活スタイルが変化する中、私達会員も平均年齢が81歳となり、フレイル現象(体力や認知機能の低下)を防ぐ為の活動としてスポーツ(グラウンドゴルフ、ゲートボール、輪投げ)、輪踊りを中心にコロナ対策を講じながら続けております。そのお陰でしょうか、一昨年の11月に市老人クラブの協力を得て体力測定(実年齢と体力年齢の差)を23名実施しました。この程その結果の報告があり、市全体で200名実施、体力年齢が5歳以上若い者40名中、当会のメンバー10名、内訳は79歳2名、81歳以上が8名でした。

良い結果だと思えますが、その反面、平均年齢81歳となりますと無理は禁物であり、事故の起きないよう細心の注意が必要と考えております。

また、今迄の見守り活動から見守られ側になりつつあり地域社会貢献力が弱まっており残念に思っております。

いずれにしても、1日も早いコ



コロナ禍の収束を願い、町内の皆さんはじめ会員との接点を増やして健康長寿社会を乗り切つて参りたいと思っております。今後ともご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

防災会

会長 大塚 洋紀

生実町町内会会員の皆様、あけましておめでとうございます。

コロナウイルス（アルファ株・デルタ株）の感染症に翻弄され、今度は新たにオミクロン株の出現に不安がつのります。

これからの日々の生活の中、三密の定義を守り注意深く生活し、一日も早く町内会会員の皆様方と町内活動が出来る事を願います。活動が再開出来ました折には町内会の行事にも御協力の程、よろしくお願い致します。

消防団

部長 木浪 賢一

新年おめでとうございます。

昨年は、自然災害において、台風被害は有りませんでした。10月7日の夜に震度5弱の地震が発生し、緊張感が増しました。今回以上の地震が何時発生するか分かりませんので、日頃から警戒をし、備蓄品の用意や点検をしておくと良いでしょう。

新型コロナウイルスに関しても、新たなオミクロン株が発生し、予断を許さない状況です。今まで通りマスクをし、手指の消毒をして、三密を避け感染しないよう生活をしなければなりません。

消防活動において、10月10日に蘇我スポーツ公園第3駐車場第42回9

都県市合同防災訓練に参加して来ました。人命救助や消火活動などをし、今まで訓練してきた成果が出世、無事終了する事が出来ました。

今の時期は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなっておりますので、火の元・火の取り扱いには、十分ご注意ください。又、常時団員を募集しております。

女性消防団

部長 長谷川 久子

明けましておめでとうございます。

町内の皆様におかれましては、日頃より、消防に対するご理解とご協力を頂きまして感謝申し上げます。

中国の武漢での、新型コロナウイルス感染症の報道から丸二年が過ぎた今、新たなウイルスの、オミクロン株による脅威の日々が続いております。町内会においても、行事が全て中止の状況です。

まだまだ先の見えない日々ですが、新型コロナウイルス感染症の、一日も早い終息を願うばかりです。本年も、よろしくお願い申し上げます。

スポーツ振興会

理事 北見 泰也

明けましておめでとうございます。

日頃よりスポーツ振興会の活動にご理解、ご協力くださいます。心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが猛威をふるい大変な年でした。延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されて多くの感動と勇気を貰いましたが、スポーツ振興会の行事は感染防止等を考え中止させていた

だきました。まだ安心できる状況ではありませんが、今年は町民の皆様とより多くお会いできるように対策を考え、安全安心で行事に参加していただける様にしたいと思っております。今後とも皆様のご協力、ご指導をお願い致します。

生實神社

総代表 戸田 功夫

明けましておめでとうございます。

町内の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍により神社でも感染防止のため各種の行事が制約されました。秋になり感染が徐々に縮小し、三年ぶりに秋季大祭が行われました。鳥居の前で風にはためく生實神社の大きな幟、宵宮では古式にのっとり湯花進献式「湯立」が行われました。午後八時うす暗い境内で、ぱちぱちと燃える湯釜の火、幻想的な雰囲気の中か宮司の祝詞奏上が始まりました。祝詞が終わると煮えたぎる大釜の湯を束になった笹で掻きまわし、その笹を参列者の頭上に振りかざしお祓いをして式は終了しました。その後参列者は拝殿に昇殿し秋季大祭の神事が厳かに執り行われました。

初詣は、お詣りの皆様にマスクの着用や境内での密集・密接防止をお願いし、恒例の甘酒やお神酒の振舞いも昨年同様取りやめとさせていただき感染防止を図りました。

また、元旦の歳旦祭では、町内会長をはじめ多くの来賓のご臨席を賜り、町内及び地域の皆様の繁栄と疫病退散など安寧を祈願させていただきました。コロナウイルスが終息し、皆様が一日も早く穏やかな日常生活をおくれますよう総代一同願っております。

今後とも地域の氏神様として、生實神社に対し一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

民生・児童委員

秋元 千歳

明けましておめでとうございます。

日頃より、民生・児童委員活動にご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

地域でお互いに支え合い、助け合いが出来ますよう皆様のご協力をお願い致します。

昨年も七十五歳以上を対象とした高齢者実態調査や、敬老会・交流活動など中止となりました。コロナウイルス感染症が収束して、一日も早く皆様に笑顔でお会いできる日を楽しみにしております。

今年度も、地域住民の困り事や、地域の福祉課題を行政や地域の皆さまと関係機関とのつなぎ役として取り組みたいと思っておりますので、よろしくお申し込み申し上げます。

はやし連

代表 岸 健一郎

明けましておめでとうございます。

日頃より町内活動にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨年も、コロナ禍の影響で行事や稽古が中止になり、皆様の前で太鼓を叩く姿をお見せする事ができず、はやし連一同、残念な気持ちでいっぱいでした。

令和四年は、コロナウイルスの感染症終息を願い、盆踊り花火大会・生実神社の祭礼行事が実施できる事を心より願います。

今年も、よろしくお申し込み申し上げます。

商工業会

会長 山本 広

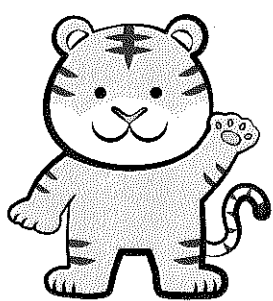
新年おめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

長引く新型コロナウイルス感染症により、非常に厳しい環境の中、会員一同地域の皆様と共に乗り越えていきたいと思っておりますので、本年もよろしくお申し込み申し上げます。



▲生実地区民生委員会議



生実商工業会

Table with 3 columns: 企業名, 営業品目, 電話. Lists various businesses like ヤマモトデンキ, デリス, オートショップ トミザワ, etc.

新しい年、よろしくお願ひいたします

淑徳大学参与・教授 磯岡哲也



人類が直面している未曾有の災害、新型コロナウイルスはいまだ収束に至っておらず、三回目のワクチン接種の早期実施が期待されています。密を避け、手洗い、マスクの着用など、個人

ます。生実町の皆さまにおかれましては、対応に苦慮されておられることと存じます。

本年度、町内会イベントのサービスマニシングに参加する学生二十名以上を予定しております。また生実町で学べることを学生ともども楽しみにしております。あたらしい年、よろしくお願ひ申し上げます。

生実のむかし ⑮

今井公子

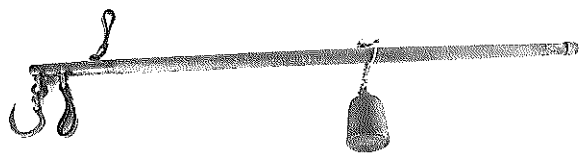
江戸時代の生実藩への年貢米上納は、十一月二十日の完納期限まで数回に分けて納入され、一日に二村ずつ検査・計量が実施されました。各村へは生実役所の納方役人が交代で出張し、玄米の量や質を検査し、村の組頭や名主なども交代で立会いました。

玄米の俵入れにあたり①「籾・赤米（あかごめ）唐法師や大唐米などの種類か・アラクタケ（粗砕）・糶米（もちごめ）等あい交じり」と異種混入を禁じ、②「俵拵え、粗末に相なり」、「新米たりとも、近頃滅石これあり」と指摘して俵の制作や計量を注意している。③「中札などの儀も、相達しおき候とおりの木切れ・竹切れ何ようの品にても、その村々都合よろしき品」を使用し、その玄米を納入した人の名前を墨書して、俵の中へ巻き込むこと、④「御年貢俵の節（検査・計量のとき）、立会・納方の者」が厳しく検査する、などと生実役所は天保十年（一八三九）九月九日に通達しています。天保十二年八月二十二日には米の干し具合・俵の縄拵え・はんとふ（意味不明）を注意する通達を出しています。

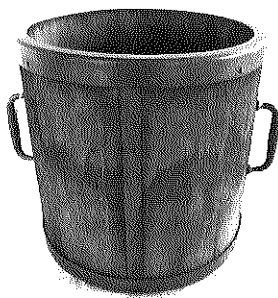
種と俵 年貢米検査・計量・上納をする日を、「俵日（ますび）」とか「斗立（とだて、計り立て）」と記述しています。

役所が貸与した大秤は二十六貫目掛けの棹秤（さおばかり）で重量（一俵風袋共で十七貫四百〇八百目）を計りました。年貢納入完納

後には大秤は割元名主が翌年の俵日まで預りました。また、「俵取り」



府が許可した俵役所で、樽屋藤左衛門が主管し、俵の製造・販売・検定をした）で調整したものを使用し



した。それまで村々に渡されていた斗俵（とます）は入目に狂いがあったためでした。俵と秤は、村の計量日に合わせて順ぐりに引継がれ、年貢完納後に枡は生実役所が保管しました。しかし、日限に遅れた小米や残り米の計量斗立てに支障が起こると村々が主張し、追加の俵も調製されて村方へ渡されました。

本年（2021年）から国の農産物検査規格の米穀については、風袋や余米を含む全体重量の記載が廃止となりました。

六価夕回公 水質検査のお知らせ

日時 2月6日（日曜日） 午前8時〜10時 場所 生実町会館 生実神社

詳細は回覧板にてお知らせをいたしますが、時間等お間違えのないようにご協力お願いいたします。

編集後記

令和四年の幕開けとなりました。

昨年は一年遅れで東京オリンピック・パラリンピックが開催され、連日のように日本選手の活躍が報じられました。若い選手の方々の、ひたむきにただ無心に自分のこれまでの全てを出して競技する姿に大変感動しました。アメリカ大リーグでは大谷選手の MVP 受賞という快挙もあり、二年にわたるコロナ禍の中にも、はじけるような明るい希望を思い起こさせてくれた二〇二一年だったと思います。

今年はどうな年になっていくのでしょうか。少し明るい兆しも見え始めている中、暖かな光の訪れと共に再び日常が活気を取り戻していることを願います。季節の行事は日常を彩り、子供達の大切な思い出になってくれます。今年の夏は沢山の歓声と笑顔が、花火大会の会場で一つになりそうです。そして二〇二二年が皆様にとって素晴らしい一年でありますように。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。（総務）